

リワーク・ディケア

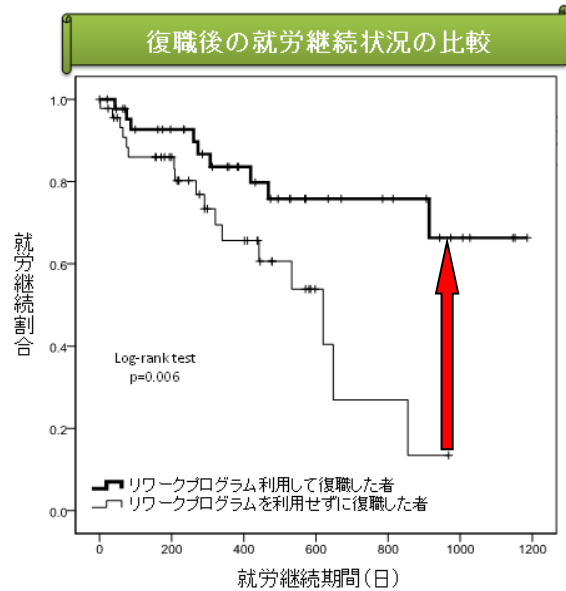
当院ではメンタルヘルス不調により休職中で復職を目指している方や、再就職を目指している方の復職支援を目的としたリワーク・プログラムを実施しています。認知行動療法を主軸として、自身の思考のクセや対人関係パターンについて振り返る機会を多く持つことで、復職後も安定して働き続けられるよう支援します。

リワーク・プログラムが必要なのはなぜ？

理由 1

リワーク・プログラムを活用することで、
復職後の就労継続率が上がります。

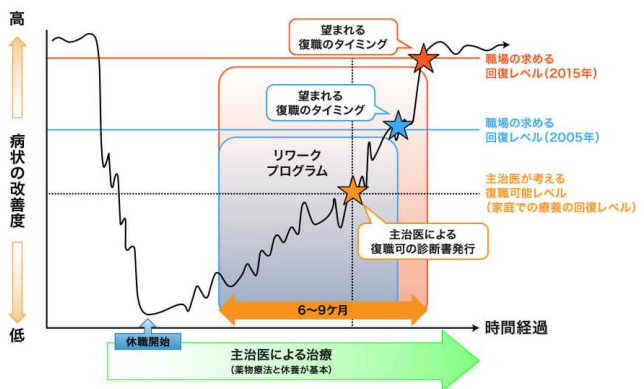
当院では、再発リスクが高いといわれる復職後のフォローアッププログラムもご用意しています！



出典：
厚生労働省障害者対策総合研究事業
「うつ病患者に対する社会復帰プログラムに関する研究」

理由 2

休息と薬物療法による「病状の回復」と、職場が求める「**病前と同様の業務をこなせる状態への回復**」との間には、多くの場合
リハビリが必要になります。



出典：
五十嵐良雄
リワークプログラムの広がりにもみる現代的な意義
「臨床精神医学」, 41(11), 2012

【当院復職支援の特色】

- ✓ リワーク開始時に**職場が求める復職基準**に合わせたリハビリ課題を抽出します。
- ✓ うつ病の治療、再発防止にエビデンスのある**認知行動療法**を主軸とした様々なプログラムを提供しています。
- ✓ メディカルサポートセンターが窓口になり、「**職場-本人-医療機関**」との連携を密に行っています。
- ✓ 医師やディケアスタッフのほかに、**多職種による個別支援**をパッケージとして提供しています。

(※多職種：薬剤師、臨床心理士、管理栄養士、精神保健福祉士)

【リワーク・プログラムのステップアップ段階】

当院リワーク・プログラムは、病状や就労準備性に合わせて以下の3段階に分けて実施しています。どの段階からスタートするかは主治医・管理医と相談の上決定します。

フォローアップ期	
目的	職務場面を通じたコーピングの共有、復職/再就職後の再発予防
参加基準	① 復職している
参加プログラム	AM：休職予防プログラム PM：各種プログラムから相談の上参加可能です
MSC 個別面接	頻度：週1回30分程度 内容：再発予防プランの実効性・検討をサポート

アドバンス・リワーク（標準利用期間；3か月以内）	
目的	復職/再就職前のブラッシュアップ、復職/再就職後の再発予防
参加基準	① 主治医から復職/再就職許可を得ている ② 週5日休まず通所できる (就労の為に必要な用事以外で欠席がなく、プライベートな用事は活動日外に調整できる) ③ 職場やハローワークと復職/再就職に向けたやり取りを開始できる
参加プログラム	最低週5コマのリワークSST・CBTの参加、オフィスワーク
MSC 個別面接	頻度：週1回30分程度 内容：産業医や人事部との面接準備/復職に伴う心配事への対策/個々の状況に合わせた復職準備サポート

ベーシック・リワーク（標準利用期間；3か月以内）	
目的	症状の自己管理、再発予防、アドバンス・リワークへの参加基準を満たす
参加基準	① 半年以内の復職または再就職を目指している ② 主治医からの推薦がある ③ 職場に出勤するのと同じ心構えで通所できる(週5日通所の参加率最低80%)
参加プログラム	AM：リワークSST、オフィスワーク PM：リワークCBT、オフィスワーク
MSC 個別面接	頻度：週1回15分程度 内容：院内機能の適切な活用に向けたコーディネート、ワークシートの確認/復職準備性を整えるためのご相談 等

プレ・リワーク（標準利用期間；3か月以内）	
目的	症状の自己管理、生活リズムを整える、ベーシック・リワークへの参加基準を満たす
参加基準	① 本人が復職または再就職を目指している ② 主治医・管理医からの推薦がある ③ 週3回以上通所できる ④ ルールを守り協調的に過ごせる
参加プログラム	AM：ベーシックSST PM：ベーシックCBT (自習やスポーツ、レクリエーションなどへの参加も可)
MSC 個別面接	頻度：適宜 内容：リワーク内容案内/社会資源のご案内 等

※他院通院中の方も、主治医を変更することなくご参加いただけます